

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム菜の花東苗穂館

作成日：平成 27年 12月 7日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアを取り組んでいるが夜間帯や昼寝時入居者様は目が覚めたら自ら起きられる。それを阻止する事なく見守り等のケアを行っているが、手を添えなければ転倒の危険がある方が何人かいる。安全対策の為、ご家族には都度説明しセンサーマット等の設置の同意を頂いているが文書としては残っていない。	今後、全ての入居者様とご家族が、入居者様が自由に移動出来る様に、センサーマット等は安全の為の手段だと理解を得られるようにする。	今後同意書の様式を作成し、対象となる入居者様には改めて説明後、同意書にて理解が得られる様にする。また、今後必要と考えた時には、アセスメントをした上で、ご家族に十分な説明と理解を得た上で、同意書を頂く様整備する。	1ヶ月
2	4	運営推進会議等の議事録はその当時の書記により書き方が統一されていなく、簡潔でないのがある。	運営推進会議だけではなく、その他内部会議等の議事録も簡潔明瞭化に取り組む。	その当時の書記はユニットリーダーはじめ介護職員も務めている為、統一性を図る為に記載例を提示し、それに則た書き方の訓練をしていく。また必ず所属の管理者が添削し指導していく。	3ヶ月
3	33	自施設は開設以来看取り介護にも取り組んでいるが、経験事例を集約しマニュアル化にはなっていない。	看取りと一言で言っても、過去の入居者様一人一人同じ様ではなく、マニュアル化は難しいが過去の事例を抜粋して専用のファイルにまとめる。次回の参考にし、職員の研修資料としていく。	過去の事例を抜粋しどのような経過をたどったか等を整理する。その上で記録の整備を様式化し、1冊の専用ファイルを作る。経験のない職員の研修の資料として、スキルアップに役立てていく。	1年
4	13	災害対策として町内会や近隣施設との協力体制は行っているが、当施設が災害時の避難先として認定されていない。	大震災等を教訓とし当施設にジェットヒーターや発電機等は備えられていて、運営推進会議等を通じて発信している。1次避難場所として、今後地域にも発信していく。	運営推進会議、町内会行事や、当施設の夏祭りを通して、再度ジェットヒーターや発電機の内容を周知する。町内会長をはじめ近隣住民に1次避難先として発信していく方法を相談する。また向かいの施設の協力体制を避難訓練や行事を通して確立していく。離れた大型の施設とも協力体制作りの為挨拶に出向く。	2年
5	2 3 4 10	以前運営推進会議に参加して頂いた老人クラブの会長が変わり、仕事上参加が難しく参加して頂けない。	運営推進会議では会長の代理での出席を発信していくと共に、自施設より逆に、入居者様と共に老人クラブに参加し、施設の存在を認識して頂く。	老人クラブの会長と連絡を取り合い、運営推進会議の代理出席を勧めると同時に当会議の開催曜日を固定にしないで随時変えていき老人クラブだけではなく、仕事の都合上出席できない家族様にも出席出来る様整備していく。また事前に連絡を蜜にして調整し、入居者様と老人クラブに参加する。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。